

事務事業名		河川改修事業(単独)			会計	一般会計		事業種別		政策	開始	終了
H27担当課等名	土木課		H27係等名	河川係		H26係等名		河川係				
基本計画上の位置づけ	政策	4	暮らしと生命を守る安全安心で快適なまちづくり									
	施策	41	災害対策の推進									
目的	対象(誰・何を)	改修・整備が必要な準用河川、普通河川及び排水路						対象指標	指標名及び単位		26年度数値	
	意図(どういう状態にするか)	水害・土砂災害の発生しない河川への改修及び降雨時等に越水しない水路への整備							改修・整備必要か所数:か所		22	
	向上させたい上位施策の成果指標	市民が災害にそなえている割合(%)							準用河川数:か所		113	
目標	種別	指標名及び単位			26年度計画	26年度実績	27年度計画	28年度見込み	備考(指標変更など)			
	成果指標	単年度改修・整備実施か所数:か所数			16	22	20	15				
	成果指標	準用河川の施設点検:河川数			113	113	113	113				
	定性目標											
事業概要	<p>1 単独河川改修事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・準用河川、普通河川の整備をし、降雨時等による水害を未然に防止する。 ・準用河川の施設、構造物の総点検を行う。 <p>2 排水路整備事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・宅地密集地等の排水路を整備し、降雨時等による水害を未然に防止する。 ・年間に排水路を15カ所程度の整備を行う。 											
	事業内容											
26年度事業内容	事業内容					名称			活動指標			
	1 単独河川改修事業 (普)白地川((25→26繰越明許)、(準)下新井沢川、(普)滝場川、(準)大平沢川、(準)坊主川)					1 施工箇所数			1 5箇所			
	2 排水路整備事業 市内全域((25→26繰越明許 4箇所、H26 13箇所)					2 施工箇所数			2 17箇所 合計 22箇所			
事業コスト		25年度決算額	26年度予算額	26年度決算額	27年度予算額	特定財源内訳、補足						
事業費計(千円)①		12,443	28,747	28,670	19,551	(そ)繰越金 25→26繰越明許費 9,054千円						
国庫支出金												
県支出金												
起債												
その他			9,057	9,054								
一般財源		12,443	19,690	19,616	19,551							
人件費計(千円)②		1,395		1,609								
正規職員所要時間		390		450								
臨時職員所要時間												
総事業費①+②		13,838	28,747	30,279	19,551							
事業内容・目標達成状況の振り返り		地域の優先順位の高い順から予定通り事業執行することが出来た。今後河川調査を進めるなかで、計画的に改修を行う必要がある。										
改革改善の考え方	①問題点	排水路整備事業は近年多発する集中豪雨による被害を未然に防止するものであり、政策の安全安心なまちづくりに直結する事業である。改修要望は増加の一方であるにもかかわらず予算は縮小。										
	②改革提案	予算の拡大										